

小平町農泊ビジネス推進協議会 (農泊及び教育旅行)

留萌振興局

【協議会の特徴・理念】

農業や漁業などの地域資源や重要文化財である古民家（旧花田家番屋）を活用した体験プログラムを提供し、地域活性化と交流人口の増加等を図り、農山漁村の暮らしを体感できる観光地づくりを目指している。

【地域の概要】

① 自然環境

小平町は北海道の北西に位置している。西は日本海に面して、海と山に囲まれた魅力ある自然環境がある。



② 人口

小平町：3,336人(2015年国勢調査)



③ 主な産業

● 農業

稲作を主体に、特色あるアイポリーメロン、トルコギキョウなどの花き、硬質小麦ルルロツソなどの栽培や、小平町（黒毛和牛）の畜産が盛んである。



● 漁業

北海道全体の3分の1の稚貝生産を行っており、小平町の2つの漁港ではタコ、ウニ、鮭等が水揚げされている。



④ イベント等

練番屋まつり、小平町産業まつり等



【協議会の概要】

① 設立年 2018年6月

② 構成員・代表者（又は団体）



③ 協議会設立の経緯（きっかけ）

地域活性化と交流人口の増加等を行い、小平町ならではの農山漁村の暮らしを体感できる観光地づくりを目指す。

④ 協議会の活動内容

- ・ 定期総会
- ・ 農泊の普及
- ・ 農山漁村の資源を活かした研修会の開催等
- ・ インバウンドに対応した受入体制の整備

⑤ 現在の課題

新型コロナウイルスの影響により体験者数が減少しているため、新北海道スタイルを実施しながら受入れを継続し体験者数を増加するための取組が必要である。

【主なコンテンツの種類及び実績】

① 宿泊者数（人）

年度	ホテル	小平町やすらぎ滞在交流拠点施設	民泊	延べ宿泊数
H30	5	51	1	57
R1	6	27	0	33
R2 (上半期実績)	0	1	0	2
R2 (下半期予定)	1	1	0	2

② 体験メニュー（人）

年度	農山漁村体験	延べ体験者数
H30	87	181
R1	101	221
R2 (上半期実績)	1	2
R2 (下半期予定)	2	4

③ 利用状況

【利用者の形態】

- ・ インバウンド 11%
- ・ 国内 89%

【利用者の声】

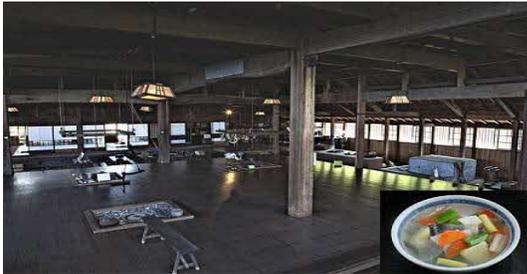
- ・ 小平町へ訪問するのは初めてだったが、体験内容に満足した。次回もまた、体験したい。
- ・ 体験時の説明がわかりやすく、体験時間や衛生面は問題なく、楽しく体験できた。
- ・ 安全管理も良く、子ども連れでも安心でした。
- ・ 景色が、最高に素晴らしかった。
- ・ 知人や友人を誘ってまた、小平町に来たい。

【特徴的な取組】

小平町ならではの地域資源を活用した多様な体験プログラム

<旧花田家番屋（鯨番屋）で歴史体験>

- ・国指定重要文化財「旧花田家鯨番屋」にて、ニシン漁で栄えた当時を体験



<薪割体験と木炭窯見学>

- ・小平町で唯一の木炭窯の見学と（まさかり）での薪割り体験



<小平産食材でお菓子作り&試食>

- ・小平町で生産された小麦ルルロックスを使った、ドーナツ作り体験



<日本海の荒波越えて刺し網体験>

- ・漁船に乗り、カレイやヒラメを刺し網漁で獲る貴重な体験



<タコの浜茹で見学&試食体験>

- ・浜の母さんが大きなミズダコを、寸胴釜で茹で上げる見学&試食体験



<鮭の筋子の塩漬け&醤油漬け作り体験>

- ・浜の母さんと一緒に前浜で獲れた鮭の筋子から、塩漬けと醤油漬けを作り体験



<花の出荷体験>

- ・小平町で栽培されたトルコギキョウなど花きの出荷体験！



<小平牛（黒毛和牛）のお世話体験>

- ・どうやって育てているかのお話を交えながら小平牛の餌やり体験



【連絡先】

代表窓口：小平町農泊ビジネス推進協議会

（事務局：(株)STAY OBIRA 担当：松林 雅洋 TEL：0164-56-2380 E-mail: obira.nouhaku@gmail.com）